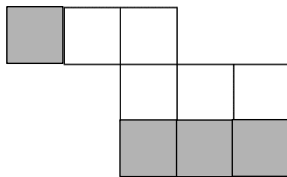


平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No. 1

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは 1 と記入すること	成績処理システムでは 2 と記入すること
1	(1)		①	技能		1 4
	(2)		②	技能		2. 5
	(3)		③	技能		$\frac{1}{10}$
	(4)		④	知識	○ 2, 13, 29の3つの数のうち, 2つのみ書いている。 ※ 1は含めないこと (例) 2, 29 等	2, 13, 29 (完答)
2	(1)		⑤	知識		ウ, エ (完答)
	(2)		⑥	考え	○ 十分満足できる解答状況4つのうち, 3つ書いている。 (例) $\frac{3}{5}, \frac{5}{7}, \frac{7}{9}$ 等	$\frac{3}{5}, \frac{5}{7}, \frac{5}{9}, \frac{7}{9}$ (完答)
3	(1)		⑦	考え		(ゆうやさん) ウ (めぐみさん) イ (完答)
	(2)		⑧	関心	○ 問題は書けているが, 答えが合っていない。 ※ 問題は「十分満足できる解答状況」のものが書けていること。	○ (64cm <sup>3</sup> )の(立方体)があります。 1辺の長さは何cmでしょう。 答えは4cm です。 ○ (64cm <sup>3</sup> )の(直方体)があります。たての長さは4cm, 横の長さは2cmです。 高さは何cmでしょう。 答えは8cm です。 ※ 上記と同様の内容であれば可。 ※ 問題と答えが合っていること。 ※ 体積が必ず64cm <sup>3</sup> であること。 ※ 図を使って示していても可 等
<b>【授業改善の視点】</b> 図を読み取る活動, 式に表す活動を積極的に位置付ける。また, 図と関連させながら筋道を立てて説明する活動を位置付ける等, 思考を表現する活動を工夫する。その際, 表記されていない数値も式に表す等, 根拠を明確にするように意識付ける。						
4	(1)		⑨	技能		○ 次の2つの条件を満たしている。 (条件1) 辺BCが7cm, 辺ABが約3.4cm, 辺ACが約6.1cmになっている。 (±2mmの誤差は可) (条件2) 角Aが91°, 角Bが60°, 角Cが29°になっている。(±1°の誤差は可) ※ 作図の跡を残していなくても可。
	(2)		⑩	知識	○ イまたはウのみ書いている。	イ ウ (完答)

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No. 2

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況														
					成績処理システムでは 1 と記入すること	成績処理システムでは 2 と記入すること														
5	(1)		⑪	技能		<table><tr><td>三角形の数</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>まわりの長さ(cm)</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr></table> (完答)	三角形の数	1	2	3	4	5	6	まわりの長さ(cm)	5	6	7	8	9	10
	三角形の数	1	2	3	4	5	6													
まわりの長さ(cm)	5	6	7	8	9	10														
(2)		⑫	考え		(式) $\bigcirc = \square + 4$ $\bigcirc = 5 + (\square - 1)$ $\bigcirc = 4 + \square, \square = \bigcirc - 4$ 等も可															
6	(1)		⑬	技能	<p>○ 式は不十分であるが、答えは合っている。 (例1) <math>60 + 65 + 60 + 47 \div 4 = 58</math> (例2) <math>232 \div 4 = 58</math> 等</p> <p>○ 式は正しいが、答えが間違っている。 (例1) <math>(60 + 65 + 60 + 47) \div 4 = 57</math> (例2) <math>60 + 65 + 60 + 47 = 232</math> <math>232 \div 4 = 57</math> 等</p>	(式) $(60 + 65 + 60 + 47) \div 4 = 58$  ※ $60 + 65 + 60 + 47 = 232$ $232 \div 4 = 58$ も可  <u>答え 58分</u>														
	(2)		⑭	考え	<p>○ 式や求め方は不十分であるが、答えは合っている。 (例) <math>60 + 65 + 60 + 47 = 232</math> <math>300 - 232 = 68</math> 等</p> <p>○ 式や求め方は正しいが、計算が間違っている。</p>	<p>○ <u>平均時間を60分とすると、月曜日から金曜日までの家庭学習の合計時間は、</u> <math>60 \times 5 = 300</math> <u>月曜日から木曜日までの合計時間が、</u> <math>60 + 65 + 60 + 47 = 232</math> <math>300 - 232 = 68</math> ※ 波線部は入れなくても可。</p> <p>○ <math>60 \times 5 - (60 + 65 + 60 + 47) = 68</math> ○ <math>60 \times 5 - 58 \times 4 = 68</math> 等</p> <p><u>答え 68分</u> ※ 1時間8分も可</p>														
【授業改善の視点】 時間や重さ等の測定値の平均を計算で求める活動を位置付けるとともに、平均×個数で合計になることを活用して求める問題を工夫する。																				
7	(1)		⑮	技能		  ※ 上記の4か所のうち1つを答えている。														
	(2)		⑯	考え	<p>○ ア、ウ、エのうち、2つは合っているが、1つだけちがう記号を書いている。 (例) イ、ウ、エ</p>	ア、ウ、エ (完答)														
8	(1)		⑰	知識		ア														
	(2)		⑱	技能	(式) $2.8 \times 0.8$ ※ 式のみ合っている。	(式) $2.8 \times 0.8$ <u>答え 2.24kg</u>														

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第5学年 算数 解答一覧 No. 3

大	中 問	小 問	連 番	観 点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは 1 と記入すること	成績処理システムでは 2 と記入すること
9	(1)		⑱	知識		10月
	(2)		⑳	関心	<p>○ 「月」, 「冊」は書いているが, 「そのうち」という言葉は書いていない。 (例)</p> <p>・歴史について報告します。 歴史は<u>9月</u>に<u>17冊</u>かし出されていました。 等</p> <p>○ 「そのうち」という言葉は書いているが, 「月」, 「冊」のどちらか1つを書いていない。 (例)</p> <p>・スポーツについて報告します。 スポーツは, 合計すると2番目に多くかし出されていました。<u>そのうち</u>, <u>10月</u>が最も多くかし出されていました。 等</p>	<p>○ 「そのうち」という言葉, 「月」, 「冊」をすべて用いて書いている。 (例1)</p> <p>・スポーツについて報告します。 スポーツは, 全部で<u>160冊</u>かし出されました。<u>そのうち</u>, <u>11月</u>にかし出されたのは, <u>50冊</u>でした。 等</p> <p>(例2)</p> <p>・歴史について報告します。 歴史は全部で<u>88冊</u>かし出されていました。<u>そのうち</u>, <u>10月</u>にかし出されたのは, <u>25冊</u>でした。 等</p>